



2012年  
6月号  
No.93

## 専門看護師・認定看護師のご紹介

当院には、さまざまな資格を持った専門・認定看護師が勤務しています。  
今回は、そのようなスペシャリストを紹介します。

### ★ 老人看護専門看護師 ★



まさだ みき  
正田 美紀

病棟や外来で、困難な問題を抱えておられるご高齢の方に対し、多職種と連携し、問題解決に向けて活動しております。また毎週木曜日の『いきいき健康教室』では、ご高齢の方の生活の質の向上や、身体の不安心についてヒントになるような勉強会を開催中です。ぜひご参加ください。

『いきいき健康教室』では、ご高齢の方の生活の質の向上や、身体の不安心についてヒントになるような勉強会を開催中です。ぜひご参加ください。

### ★ がん化学療法認定看護師 ★



さの てるえ  
佐野 照恵

抗がん剤治療を受ける方が安心して治療を受けられるよう、精一杯サポートさせていただきます。

お薬の副作用に関する事や、ご自宅での過ごし方など、お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。

### ★ 皮膚・排泄ケア認定看護師 ★



いまむら なおみ  
今村 直美

皮膚・排泄ケア認定看護師とは、読んで字のごとく、皮膚トラブルを専門にケアする看護師です。院内では主に、

褥瘡（床ずれ）やテープかぶれ、水疱などの傷全般と人工肛門を造設された方のケアを行なっています。『傷のトラブル110番』として、いつでもご相談ください。

### ★ 糖尿病看護認定看護師 ★



おちか もと  
尾近 望都

日本人の20歳以上の4.7人に1人は糖尿病の可能性があるとされています。そんな身近な病気をお持ちの方々をケアする看護師です。

糖尿病に関するお悩みの解消や、生活習慣の改善などをお手伝いさせていただきます。いつでもご相談ください。



# 検査室からのお知らせ



## HbA1cの基準値が変わりました！！

HbA1c(ヘモグロビンエイワンシーと読みます)とは、過去1~2か月間の血糖値の平均を表す数値です。糖尿病の診断にも用いられています。

この4月から国際標準化に伴い、HbA1cの基準値が新しいものに変更になっています。HbA1c(JDS)からHbA1c(NGSP)になりました。何が違うのかというと、新しいHbA1c(NGSP)はHbA1c(JDS)に比べ、値が0.4%高くなります。例えば、今までの検査で『6.1%』となっていたものが、新しい基準では+0.4%の『6.5%』となります。



今までの数値(JDS)と新しい数値(NGSP)を比較するときは、0.4%の違いがあるということに注意してください。



現在当院ではJDS値とNGSP値の両方を記載しています。  
JDS値で6.1%以上、NGSP値で6.5%以上の場合、糖尿病を強く疑います。

## ○子どもの安全ニュース○

### 子どもの交通安全を再確認しよう！

近頃、子どもを巻き込んだ交通事故の報道が続いています。少しでも子どもの危険を避けるために、大人ができることをまとめました。この機会に再確認してみましょう。



国際内科  
安達 正時  
(小児科専門医)

#### Check!

#### ☑ 子どもの通園路・通学路を再点検する

交通量が多いところはありませんか？子どもだけで通学している場合は、一度一緒に通学路を確認してみましょう。より安全なルートはないか再度点検してみましょう。

#### ☑ 音楽プレイヤーや携帯電話を操作しながらの動作をやめる

イヤホンをしながら自転車に乗ったり、携帯電話の操作をしながら道路を歩いたりしていませんか？こういった行動は周りの危険察知への妨げになります。

#### ☑ 自家用車にチャイルドシートを設置する

チャイルドシートは設置していますか？5、6歳になっても、成人用シートベルトをそのまま使用するのは危険なことがあります。身長150cm程度になるまでは、座高を上げてシートベルトを正しい位置に装着する必要があります。これは、概ね10歳までチャイルドシートが必要ということになります。

#### ☑ 駐車場を遊び場にしない

子どもたちが駐車場やその周囲を遊び場にしていますか？一見広々している駐車場ですが危険も多いです。立体駐車場での怪我や死亡事故も報告されています。好奇心旺盛な子どもにとって、身の回りの全てが遊び場になりがちですので気を付けましょう。

#### ☑ 子どもの特徴を知る

大人にとって当たり前にも思えることも、子どもにはうまく伝わっていないことがあります。『子どもの行動パターン』を知ることで、より効果的に交通安全の意識を高めましょう。

##### ①ひとつのことに集中する

遊びに夢中になると不意に道路を横断したり飛び出したりする。

##### ②感情のコントロールが苦手

褒められたり、叱られたりすると、そのことで感情が高ぶり、注意力が散漫になる。

##### ③言葉の意味を行動にうまくつなげられない

「車に気をつけて」「よく注意して」といわれても、何をどうすればいいのか理解できない。

##### ④物事を単純に理解します

「横断歩道は手を挙げてわたる」と覚えると、危険な状況でも手を挙げればいつでも道路を横断できると思ってしまう。

※参考文献：山梨県・山梨県交通対策推進協議会、消費者庁  
子どもを事故から守る！プロジェクト